

新規

化学・生物総合管理の再教育講座(講義内容)

後期

科目No.	456	科目名	リスク学特論6		サブネーム	製品安全概論-製品安全対策の基礎知識		
共催機関/連携機関	主婦連合会/製品評価技術基盤機構	レベル	基礎	講義日時	火曜日 18:30~20:00	講義場所	主婦会館	
科目概要	近年、消費者が使用する製品の安全性が大きくクローズアップされ、種々の製品事故が顕在化し、これを受けて、政府においても消費生活用製品安全法の2度にわたる改正を行う等、製品安全政策の見直しが行われている。本講座では、製品事故の現状と製品安全政策について具体的事例に基づき分析考察するとともに、今後の事故防止方策や政策のあり方について論じる。							

サブタイトル	No.	講義名	講義概要	講義日	教室	講師名	所属
製品事故の現状	1	製品事故の動向	NITEの事故情報収集調査結果を用い、製品事故動向を分析考察する。	8月26日	主婦連合会 会議室 (JR四谷駅前 主婦会館内)	長田 敏	製品評価技術基盤機構
	2	最近の注目事故、原因究明 I	最近の特徴的な事故と原因究明の具体的事例を通じて、近年の事故の現状を考える。	9月2日		小田泰由	
	3	最近の注目事故、原因究明 II	最近の特徴的な事故と原因究明の具体的事例を通じて、近年の事故の現状を考える。	9月9日		佐々木茂	
製品事故の防止対策	4	誤使用事故防止 I (事業者の取り組み)	製品安全の原因で最も多い誤使用について、誤使用防止の観点から、作る側、使う側それぞれに事故を防止するために配慮すべきことはなにかを考える。	9月16日		新井勝己	
	5	誤使用事故防止 II (消費者の役割)	製品安全の原因で最も多い誤使用について、誤使用防止の観点から、作る側、使う側それぞれに事故を防止するために配慮すべきことはなにかを考える。	9月30日		小田泰由	
	6	高齢者、子供などの事故	事故にあう可能性の高い人たちへの配慮や事故の現状と事故防止について考える。	10月7日		新井勝己	
	7	リスクアセスメント	安全な製品を設計するためのリスクアセスメント手法の現状と今後の課題について考える。	10月14日			
	8	リコール	我が国におけるリコール・回収の現状を分析し、リコール制度、リコールのあり方などについて考える。	10月21日		山田秀和	
製品安全における法令・制度	9	消費者行政における、国、地方自治体、公的機関の役割	我が国の消費者行政(製品安全)の全体像及び国、地方自治体、国民生活センター、NITE等の各セクションの役割について概観する。	10月28日		小西良一	
	10	我が国の製品安全政策	我が国における安全規則(安全四法、家庭用品品質表示法等)の現状、最近の法律改正について概観する。	11月4日		長田 敏	
	11	海外における製品安全政策の状況	海外ではどのように製品安全が確保されているのかについて概観する。	11月11日		新井勝己	
	12	認定・認証制度	国際ルールとしての認定認証制度とその内外の現状について概観するとともに、製品安全との係りについて論じる。	11月18日		本屋和男	
	13	紛争処理	民法、製造物責任法、紛争外処理などについて概観する。	11月25日		長田 敏	
	14	化学物質管理政策	内外の化学物質管理政策の現状と今後の動向について概観するとともに、製品安全政策との類似点・相違点について考察する。	12月2日		池谷玲夫 長田 敏	
	15	今後の我が国の製品安全政策のあり方	何故、近年製品安全問題が顕在化したのか等を分析し、今後の製品安全政策の課題や技術基準や公的機関のあり方を考察するとともに、階層的規格体系の考え方やあるべき規格体系について提案を行う。	12月9日		長田 敏	